

2012年 上半期プレイバック

関カレ有終の美を飾る

第91回関東学生陸上競技対校選手権大会が5月12～13日、19～20日の4日間、国立霞ヶ丘競技場で行われた。2日目の10000m決勝では、村山が終始先頭で積極的にレースを展開する。中盤から終盤にかけて先頭集団では激しいトップ争いを繰り返すが、ラスト300mでスパートをかけ、そのまま集団を引き離し、見事栄冠を手にした。

4日目の5000m決勝では、窪田が積極的な走りをみせ、外国人選手に食らいつく。2000mを過ぎた辺りで離されてしまうが、スピードを緩めず後続を突き放し、日本人トップでゴールした。



粘りの走りを見せた窪田

油布が大会新記録!

第9回トワイライト・ゲームス大会が7月22日、代々木公園陸上競技場で行われた。駒大からは1500mに油布郁人(営3)、岸本朋紘(商3)が出場した。油布はレース序盤から勢いを飛ばし、1200mあたりから先頭に踊り出た。油布本人も意識していたという早大の大迫も油布に続くが、最後の直線勝負で意地の走りを見せた油布が大迫を振り切りゴールを駆け抜けた。記録は3分42秒37と自己ベストならびに大会新記録を果たした。岸本は、終始後方をキープし、ラストに追い上げを見せるも猛追及ばず11位と納得のいかない結果に終わった。



好調な走りを見せた油布

中村が自己ベスト更新

ホクレンディスプレイスタンスチャレンジが深川市陸上競技場にて行われた。6月27日に行われた第2戦深川大会では、10000mに中村匠吾(経2)、後藤田健介(法4)が出場した。中村は終盤ペースメーカーに食らいつき、28分22秒59と自己ベストを更新し優勝。後藤田も終始冷静な走りをし、28分56秒59と目標としていた28分台のタイムで自己ベストを更新した。7月7日の第4戦網走大会は、網走市営陸上競技場で行われ、5000mに攪上宏光(経4)が出場。13分45秒08と2年ぶりの自己ベスト更新を果たした。



下半期に期待がかかる中村

<駒大スポーツ陸上担当スタッフ>

発行人 町田敦子

スタッフ 小野沢権悟 須部楓 杉浦将貴 松本真依 向山厚弥
山口絵理 足立夕季 内田真生 小川里美 小山純佳
佐々木隆行 高笠優子 高橋晴子 豊田綾

いつも駒大スポーツをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
TAFに関するご意見、ご要望がございましたら以下までご連絡ください。

〒154-8525 東京都世田谷区深沢 6-8-18

駒沢大学付属マス=コミュニケーション研究所

駒大スポーツ編集部

TEL:03-6381-8901

FAX:03-3702-9629

Twitter:@komaspoTaf

速報ツイート実施中!!

～夏合宿プチオフショット～

夕飯にお邪魔させていただきました!

